

地目	反別又は坪數	地目	反別又は坪數
田	七、二三〇・六〇七反	池沼	三・三〇六反
畑	三、四四八・三一六反	免租地	七五・八二七反
宅地	二七一、六九四・二六二坪	雜種地	〇・七〇二反
山林	二九二・七二三反	墓地	二五・〇二二反
原野	二〇・〇二〇反	合計	一一、〇九六・八〇二反
神社境内	一一・八三六坪		二九二、七五〇・二六坪
寺院境内	八・二二二坪		

## 第二章 地勢及地質

我が國屈指の大平野濃尾の大廣袤は、一望千里これをさへぎる山脈がない。北方は大木曾をへだてて美濃の地に接し西方伊吹の嶺に集る諸山及び養老山脈の起伏する遠景は遙か十數里の彼方に望まれる。

東北には尾北唯一の名所白帝城を目捷に、遠くは日本アルプスの峻嶺、西の伊吹養老の兩山脈と相對して數十里の彼方に聳えてゐる。中にも西の伊吹と東の惠那嶺とは秋冬の候より白雪をいたゞき相競立し、我が村の風景を一層美化せしめる。たゞ南方のみは雲外萬里漠として限りなく其の末は熱田灣の碧波と消える。

さて東方には尾張富士を中心とする所謂尾張丘陵が南より北方にのび、木曾川に依つて中斷されて居る。従つて本村の地勢も東北に至る程高く南西するにつれて漸く低くなつてゐる。

河川の主なるものは木津用水・五條川・名古屋上水道である。就中木津用水は荒井に於て木津用水、合瀬川の兩用水に分れ南流し五條川と共に數百町歩の田を灌溉してゐる。

地質は木曾川の沖積層より成り西は葉栗中島の兩郡に亘り南は西春日井郡、海部郡の一体に連つてゐる。而して東は犬山町より南へ遠く名古屋市に續く洪積層である。

## 第三章 氣象

### 第一節 温度及天候

氣候や温度は本村及本村に連る平原地帯一帶に同一であるからこれが記述も亦本村に限れる特別の暖寒晴雨のあるわけはない。併しながら本縣の北部に位し、北方に木曾川があるに依り、多少其の影響を受くることがあると思ふが大體に於て本村の温度及び氣候は共に適當で、所謂五風十雨の感がある。晩秋の候より冬期に入つては西北風しきりに吹きすぎに伴ひ時としてははげしい寒氣をおび來ることがある。之を伊吹嵐と稱へる。

最近五ヶ年間平均の天候及温度の概要を掲ぐれば次の如くである。

天 候 調			
晴天	曇天	雨天	雪天
二四五日	八二日	三三日	五日

温 度 調		
最高	最低	平均
九八、四度	三七度	六七、七度

今愛知縣測候所にて観測せし降雨量を示せば左の如くである。(本村にて測量せしことなきたため、かりに犬山町に於けるものを示す)。

昭和三年一八八〇ミリメートル。 昭和四年一七〇八・八ミリメートル。  
 昭和五年一八〇一・三ミリメートル。 平均一七九六・七ミリメートル。

## 第二節 天 災 地 變

### 一、入鹿池堤防決潰

入鹿池は本郡池野村にあつて、四面尾張富士及び其の他の丘陵性の山々にかこまれて居る一大貯水池で其の周圍三里、昔小牧町居住の人が發起となりて竣工せられた灌漑用の溜池である。

時は明治元年四月より五月の間に亘り霖雨連降し雨量山谷に溢れて本宮山・尾張富士それら一帯に連る山々は盛に雨水を吐流す、ために池水激増し水邊危殆に類するや當所の役人を始め各部落民協力應急作業に盡せども水勢如何ともなし難く五月十四日朝霧深き拂曉一大音響と共に決潰し、奔流は西南に朝烟未だ昇らざる六十二ヶ所の村々をひたし余流は數百村に及んだ。流失家屋千有余にて溺死者又千を下らず慘憺たる光景はさながら生地獄の如くであつた。

### 二、明治四十五年四月十九日電害調査

畑之部

被害面積 (右)  
 農作物被害見積高 (左)

收穫 皆無	大 麥	小 麥	裸 麥	大根種	桑 園	山 苗	蔬 菜	合 計
ノ 七 減 七 收 制 收 穫 以 上 モ ノ	八九反 一七、八〇〇円	五〇反 一〇、六〇〇円	三五反 二、五〇〇円	五〇反 一、五〇〇円	六三反 一、八〇〇円	〇 〇	一〇反 三〇〇円	二、三五反 八六、四〇〇円
〇	三七反 四、五〇〇円	四反 四〇〇円	三〇反 三、〇〇〇円	〇	八二反 三、四七五円	二五反 一、六〇〇円	〇	三九反 一八、四〇〇円

合計	五割以上 減收ノモノ	二反	五反	三反	五反	〇	〇	〇	〇	二反	三反
1,100反	1,250反	300反	500反	350反	500反	0	0	0	0	300反	3,500反
1,950反	1,050反	300反	1,800反	1,800反	650反	1,500反	1,500反	1,000反	2,000反	1,800反	10,800反

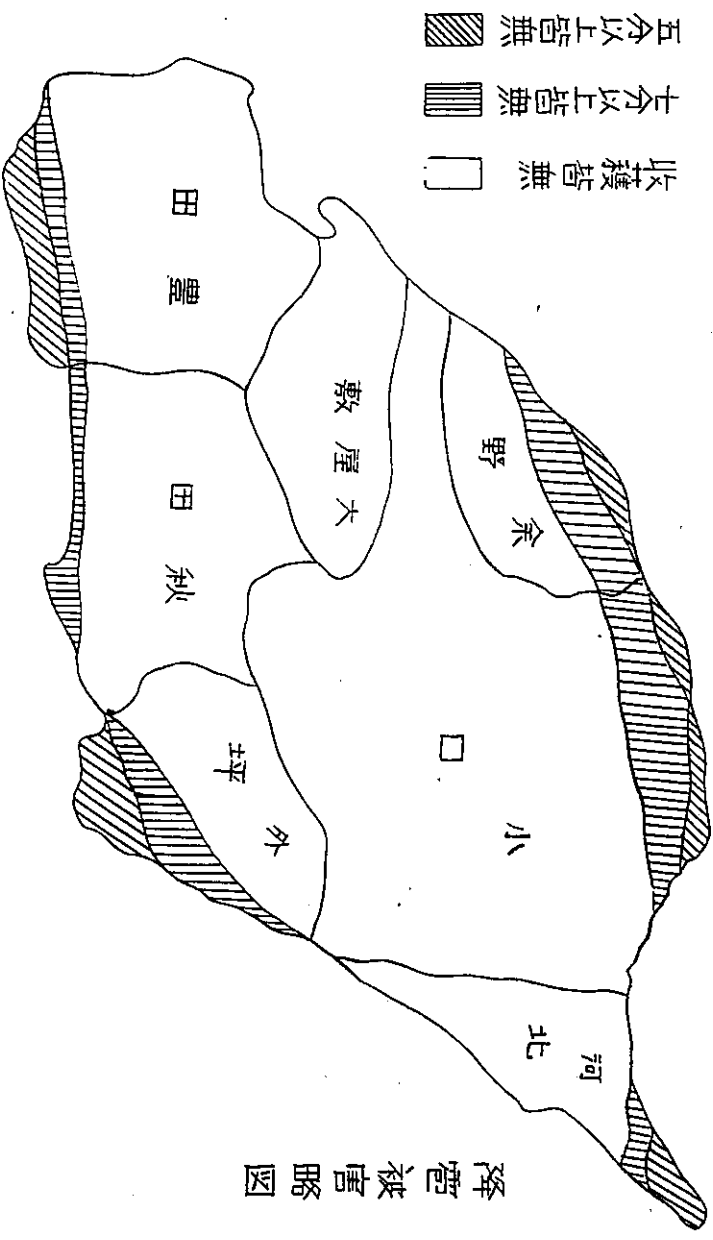
全上

田之部

大麥	小麥	裸麥	大根種子	菜種	紫雲英	桑	園果	樹	合計
4,000反	4,500反	2,000反	800反	1,000反	3,000反	4,500反	5反	5,750反	5,750反
8,000円	9,000円	6,000円	2,500円	1,500円	4,500円	7,500円	350円	14,150円	14,150円
50反	100反	30反	0	0	0	100反	0	800反	800反
8800円	1,900円	250円	0	0	0	900円	0	3,000円	3,000円
50反	40反	30反	8反	30反	0	50反	0	66反	66反
500円	400円	300円	100円	300円	0	200円	0	800円	800円
5,250反	500反	500反	8反	30反	0	50反	0	7,350反	7,350反
25,500円	1,100円	6,750円	2,500円	1,500円	4,500円	7,500円	350円	108,000円	108,000円
合計									

建物 小口三戸 余野二戸 河北一戸 大屋敷三戸 添家 肥塲 全潰 (内非住家一戸アリ)  
第二小學校尋一生二人退校飯途面及脚部負傷 大字大屋敷荷馬車挽一人面部負傷

明治四十五年 四月十九日



收穫皆無  
十分以上皆無  
五分以上皆無

三、大正元年九月廿二日農作物風害調

三十日調

種別	五割以上減收		三割以上五割		二割以上三割		一割以上二割		一割未満減收		計
	被 害 見 積 金	同 見 積 金	同 反 別 積 金	同 見 積 金	同 反 別 積 金	同 見 積 金	同 反 別 積 金	同 見 積 金	同 反 別 積 金	同 見 積 金	
水 稻	壹反	一、一八四	六反	八八四	四、六三三	三、〇〇六	二、四三六	三、五〇三	七、〇七三	七、〇七三	二、〇七三
陸 稻	壹反	一、一八四	六反	八八四	四、六三三	三、〇〇六	二、四三六	三、五〇三	七、〇七三	七、〇七三	二、〇七三
蘿 蔔					一、四八	一、一八四					一、四八
蕪 麥	三〇	三〇〇			一〇	一〇〇					三〇
蕪 菁					一〇	一〇〇					一〇
白菜及其他					三〇	一、三〇〇	三〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	五、〇〇〇
柿	三〇	一〇〇									三〇
梨	三〇	一〇〇									三〇
柑 橘 類	二五	一〇〇	五	一〇〇							一〇〇
其他 果 實	三	一〇〇	二	一〇							三
晚秋種ニ給スル 桑 葉	五〇〇	六、〇〇〇	三〇〇	一、〇〇〇							八、〇〇〇
計	五三反	八、七三三	三三反	三、三三三	三、五〇〇	三、〇〇六	二、四三六	三、五〇三	一、五〇五	一、三三三	九、〇七三

四、昭和三年四月廿一日 霜 害

本村の被害程度甚大なるもの、支那桑の如き稍々發芽遅れたるものは向ふ二週間の後に於ては約半作の見込なるも、赤市並に清十桑の如き早生桑ものは時季を失し殆ど無收穫の見込である故に被害程度を分けて無被害・七分作・無作に區別して調査した。

大字名	總見込反別	無被害	七分作	半作	無作	被害見込の月日及狀況
秋 田	四〇二反	〇反	一〇反	一一〇反	二九〇反	四月二十五日甚大なる霜害を蒙りたる内赤市桑殆んど落葉す
豊 田	四〇九反	〇反	一六反	六一反	三三二反	支那桑は程度稍々輕に付十四日經過すれば約半作見込なり
大 屋 敷	三一八反	〇反	一〇反	九〇反	三一八反	支那桑は程度稍々輕に付十四日經過すれば約半作見込なり
余 野	三八八反	〇反	三三反	二二反	三六四反	全上
外 坪	二〇三反	〇反	三五反	二二反	一六八反	全上
河 北	二四三反	一〇反	八五反	七七反	八〇反	程度比較的輕きも本年度植込せるものは完全なるものなし
上 小 口	二七六反	〇反	一〇反	四八反	二一八反	全上
中 小 口	二五四反	〇反	八反	七三反	一七三反	全上
下 小 口	三八二反	一〇反	二三反	一〇六反	二五二反	要するに被害は一般に亘るも赤市桑は殆んど無收穫支那桑は約半作なり
計	二、八七五反	二反	一六八反	六一〇反	二、一九五反	